



外面（原寸）

猿の墨画土器

土師器の皿の外面に5匹の猿、内面に犬の顔らしきものが描かれています。長屋王邸の東外郭にある井戸に投げ込まれたもので、長屋王（676？～729年）存命中のものと思われます。専門絵師の下絵と考えられ、猿を描いた日本最古の墨画として、美術史的にも貴重な資料です。現在、平城宮跡資料館でレプリカを展示中です。

（平城宮跡発掘調査部 神野 恵）



内面（60%縮小）